

第1回 西日暮里駅前地区文化交流施設整備検討会

次第

日時：令和3年8月4日（水） 午後6時30分～午後8時00分

場所：サンパール荒川 第2集会室（4階）

1 委員紹介

2 議題

- ・文化交流施設について

（区のこれまでの検討状況、区の文化施設の現況と課題、再開発の概要）

【配付資料】

- ・資料1…西日暮里駅前地区文化交流施設整備検討会について
- ・資料2…文化交流施設整備検討会委員名簿
- ・資料3…西日暮里駅前地区再開発における文化交流施設に関するこれまでの検討状況
- ・資料4…西日暮里駅前再開発事業スケジュール
- ・資料5…再開発関係資料

【参考資料】

- ・参考資料1…西日暮里駅前再開発における文化交流施設に関する考え方
- ・参考資料2…区施設イベント関係資料

令和3年8月4日

文化交流推進課

西日暮里駅前地区文化交流施設整備検討会について

1 検討会

【設置目的】

西日暮里駅前地区再開発事業における文化交流施設は、駅前立地を最大限に活かした子どもから高齢者までの誰もが気軽に利用でき、長時間滞在できる施設を想定しており、当該施設の整備にあたっては、様々な意見を聞きながら、施設の具体化を図る必要がある。

については、有識者等による検討会を設け、当該施設の基本方針をまとめ、基本設計に反映させる。

(1) 委員

	人数
学識経験者	5名
区議会	5名
区民等	2名
行政	2名

(2) 委嘱期間

令和3年7月から令和4年9月まで

(3) 検討内容

- ① 施設の基本的なあり方に関する事。
- ② 文化交流施設の各機能の具体的な内容に関する事。

(4) 検討の進め方

月に1回程度開催

令和4年1月中間報告

令和4年9月最終報告の予定

(5) 事務局

地域文化スポーツ部文化交流推進課

防災都市づくり部住まい街づくり課再開発担当

文化交流施設整備検討会 委員名簿

令和3年8月4日現在

(敬称略)

区分		氏名	肩書
学識経験者	委員長	卯月 盛夫	早稲田大学社会学部総合学術院教授
	副委員長	齋藤 啓子	武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科教授
	委員	沢木 拓也	小学館『BE-PAL』編集部編集長
	委員	羽生 冬佳	立教大学観光学部教授
	委員	両角 達平	国立青少年教育振興機構研究員
区議会	委員	町田 高	荒川区議会議員
	委員	鎌田 理光	荒川区議会議員
	委員	松田 智子	荒川区議会議員
	委員	小林 行男	荒川区議会議員
	委員	清水 啓史	荒川区議会議員
地域関係者	委員	志村 博	荒川区町会連合会会長
	委員	富永 新三郎	東京商工会議所荒川支部会長
行政	委員	北川 嘉昭	荒川区副区長
	委員	古瀬 清美	荒川区地域文化スポーツ部長

令和3年8月4日
文化交流施設整備検討会

西日暮里駅前地区再開発における文化交流施設に関するこれまでの検討状況

検討会に先立ち、区関係部署において以下のような検討を行ってきた。

西日暮里駅前再開発における文化交流施設に関する考え方概要

<令和3年1月8日文教・子育て支援委員会資料>

※本資料の詳細は参考資料1参照

1 施設概要

西日暮里駅前地区再開発事業における文化交流施設は、駅前立地を最大限に活かした子どもから高齢者までの誰もが気軽に利用でき、長時間滞在できる施設を想定している。

2 施設における基本的な考え方

(1) 可変性

再開発事業が完了するまでに一定期間を要し、合わせて文化交流に関する機能は時代とともに変化することが今後も予測されることから、当該施設については、基本的な機能のみを定め、詳細設計など具体的な仕様については、検討会により内容を検討していく。

(2) 整備すべき機能

当該施設の機能は、区内にある既存の文化交流施設の現況や区民や専門家などから意見を踏まえ、西日暮里駅前という立地の優位性も考慮しながら整備すべき機能を定める。

(3) 融合

当該施設は、ワンフロア約4,000㎡という広い空間において、整備する各機能を相互に融合し、一体性、連続性をもたせる。

(4) ゾーニング

設計段階では全体に構造面での荷重に配慮した設計とし、自由な発想を生かせる構造検討をフロア全体で行うとともに、詳細にわたるゾーニングについては、検討会での報告を踏まえた上で作成する。

3 整備すべき機能・・・次頁参照

3つの機能を従来の類型にとらわれることなく、図書や活動を通して、様々な人の居場所となるような文化交流拠点とする。

機能をシームレスに融合させ、機能的にも、空間的にもグラデーションを持たせたゾーンを作ることで、長時間滞在できる施設とする。

駅前立地という利点を最大限に活かし、誰もが利用でき、行ってみたいと思える仕掛けを設ける。

(1) 図書機能

- ・ゆったりとくつろぎながら読書や読み聞かせを楽しむことができる場
- ・あらゆる世代が気軽に利用できる場であり、これまでにない本との出会いを可能とする場

- ・区民の読書活動や課題解決を支援し、地域文化の情報を知ることができる場

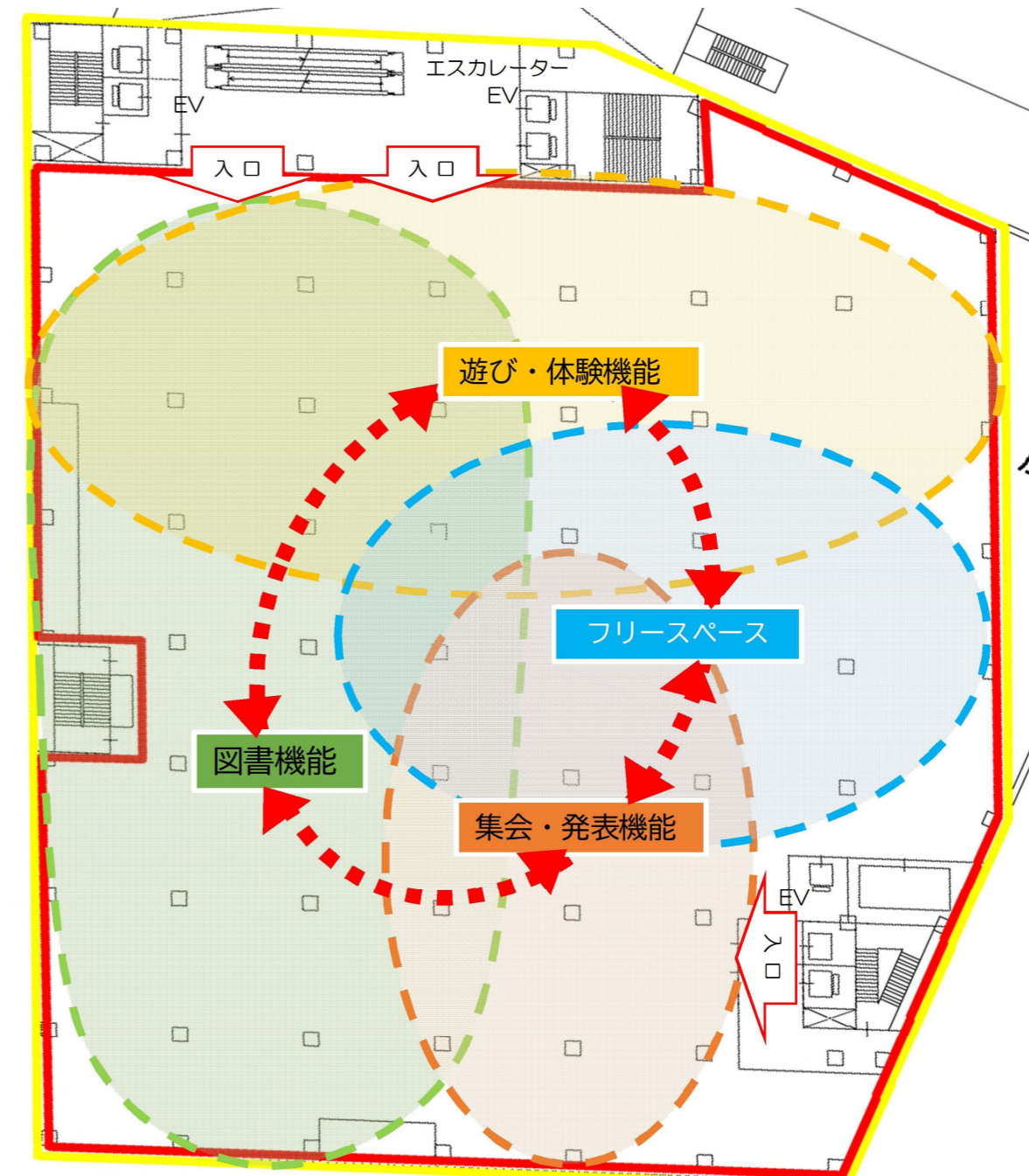
(2) 遊び・体験機能

- ・遊びを通して、子ども同士の協働やコミュニケーションの楽しさを感じられる場
- ・利用者それぞれの興味に合わせて活動、体験ができるとともに幅広い世代が交流するきっかけとなる場
- ・子ども達あるいは親子連れが、いつ来てもワクワク感を感じられる場

(3) 集会・発表機能

- ・地域の文化活動を発信するなど様々なイベントを実施できる場
- ・図書機能、体験機能と連携した事業を行うことができる場
- ・区内外のアーティストを招いて、区民に気軽に芸術文化に触れる機会を作れる場

4 ゾーニングイメージ



西日暮里駅前再開発における公共的屋内空間の考え方

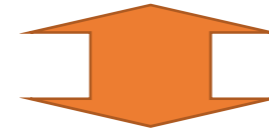
■ 目的

区民の多様な芸術文化活動の活性化、地域活動を通じたコミュニティ形成、芸術文化を通じた国内外の交流促進を図るため、民間コンベンション施設との機能連携や一体的な運営により、相乗的な賑わい造りを目指していく。

民間コンベンション施設

- ・ 地域資源を活かした個性ある地域密着プログラムを提供するとともに、交通利便性の良さを活かした興行プログラムを想定。
- ・ アクセス性の良さを活かし、国内外から学会、講演会、シンポジウム、コンサート、演劇、カルチャーイベントなどの開催の誘致を想定。

連携



文化交流施設

- ・ 駅前立地を最大限に活かした子どもから高齢者までの誰もが気軽に利用でき、長時間滞在できるとともに、子どもがわくわくしながら過ごせる施設を想定。
- ・ 地域活動や芸術文化活動を通じた区民相互、区内外の交流を促進する施設を想定。

遊び・体験機能

目的

- ・ 遊びを通して、子ども同士の協働やコミュニケーションの楽しさを感じられる場
- ・ それぞれの興味に合わせて活動、体験ができるとともに、幅広い世代が交流するきっかけとなる場
- ・ いつ来てもわくわく感を感じられる場

機能

- ①親子が遊びを通して交流し、知力・体力を育てる場
例) 遊び場プロデュース企業によるプレーパークなど
- ②みんなで楽しみながら交流できる場
例) e-スポーツ/障がい者スポーツ/VR体験
ボルダリング/ボードゲームなど
- ③ものづくりや体験ができる場
例) ものづくりスペース/職業体験スペース
絵画・彫刻・工芸品・おもちゃ制作/プログラミング

図書機能

目的

- ・ ゆったりとくつろぎながら読書や読み聞かせを楽しむことができる場
- ・ あらゆる世代が気軽に利用できる場であり、これまでにない本との出会いを可能とする場
- ・ 帰宅前や休日など個人やグループで学習ができる場

機能

- ①情報を得て「創造」できる場
例) 3Dプリンター/動画作成/作詞・作曲/執筆など
- ②多様で自由な読書スタイルを可能とする場
例) くつろぎ読書スペース/みんなで学ぶスペース
静かに集中学習スペース/電子図書など
- ③施設内どこでも本を気軽に手にとれる場
例) 特定テーマで選書したコーナー
他のゾーンと連携した書架配置など

集会・発表機能

目的

- ・ 地域の文化活動や子育て情報を発信するなど様々なイベントを実施できる場
- ・ 図書機能、体験機能と連携した事業を行うことができる場
- ・ 気軽に芸術文化に触れる場

機能

- ①子どもから大人まで音楽を楽しめる場
例) 音楽スタジオ/ライブハウス/多目的ホールなど
- ②子どもや中高生、高齢者が集まり過ごせる場
例) 子ども食堂/小規模運動施設/園芸(水耕栽培)
図書機能と連携した読み聞かせスペースなど
- ③イベントや物販による賑わいを創出する場
例) マルシェスペース/駄菓子屋/トークショーなど

集い

- ・ 親子や親同士、学生、高齢者など地域の交流の場として気軽に利用できる、オープンスペースなカフェ

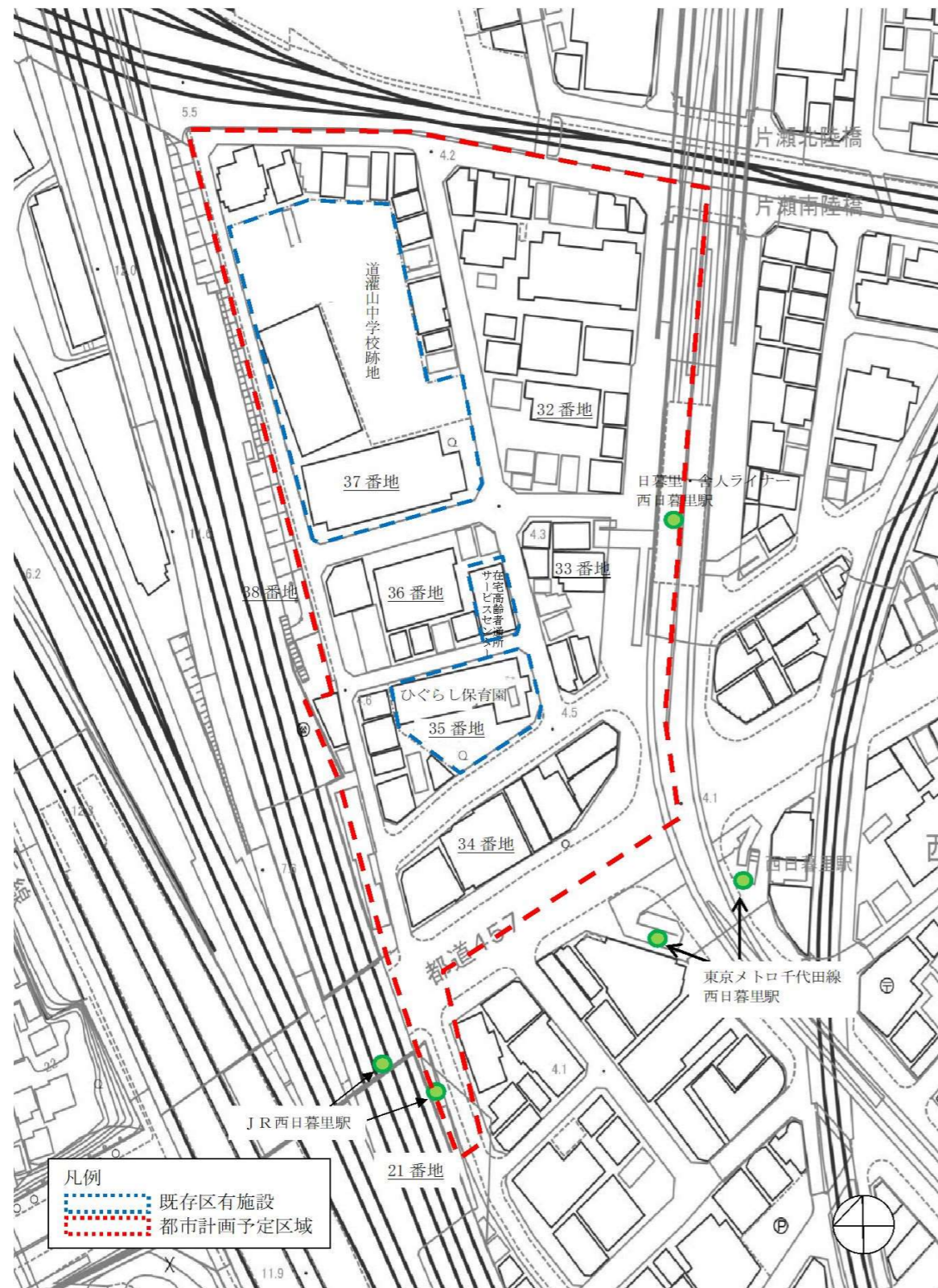
西日暮里駅前再開発事業スケジュール

	主体	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	～	令和11年度(2029年度)
○再開発事業全体	—							
・ 手続関係	組合	6/18 都市計画決定・告示	組合設立・事業計画認可					
・ 工事関係	組合					除却工事 ～ 新築工事 ～ テナント工事		
○設計関係	—							
・ 手続関係	組合	8月 基本設計業者決定						
・ 設計関係	組合	事前調査等		基本設計 ～ 実施設計				
・ コンベンション施設、商業施設関係	組合	コンサルタントによる検討	基本設計に反映					
○文化交流施設	—							
・ 検討会	区	基本的なあり方・施設イメージ検討						

※上記のスケジュールは予定であり、変更となる場合がございます。

再開発関係資料

現況図

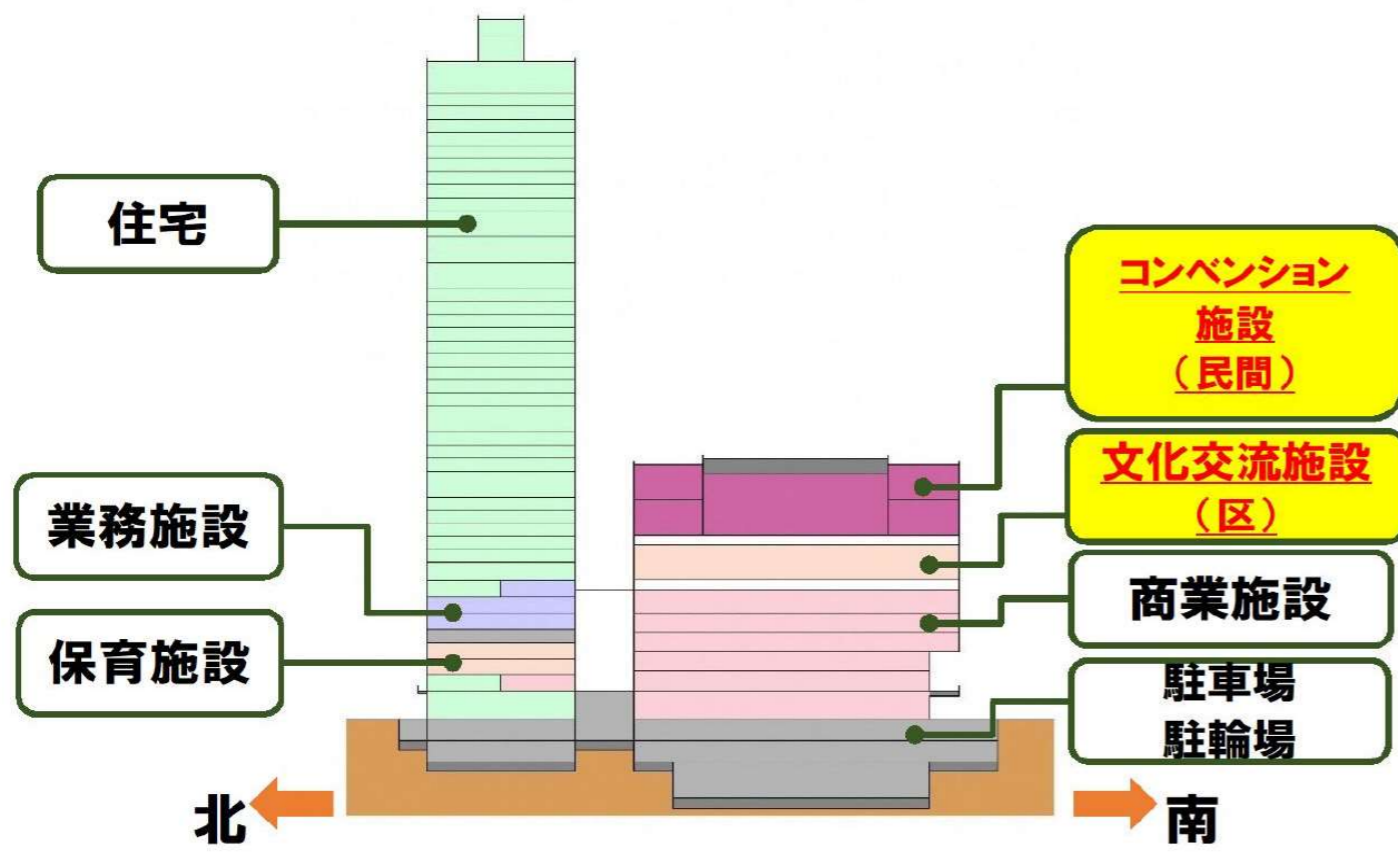


施設配置及び公共施設整備図



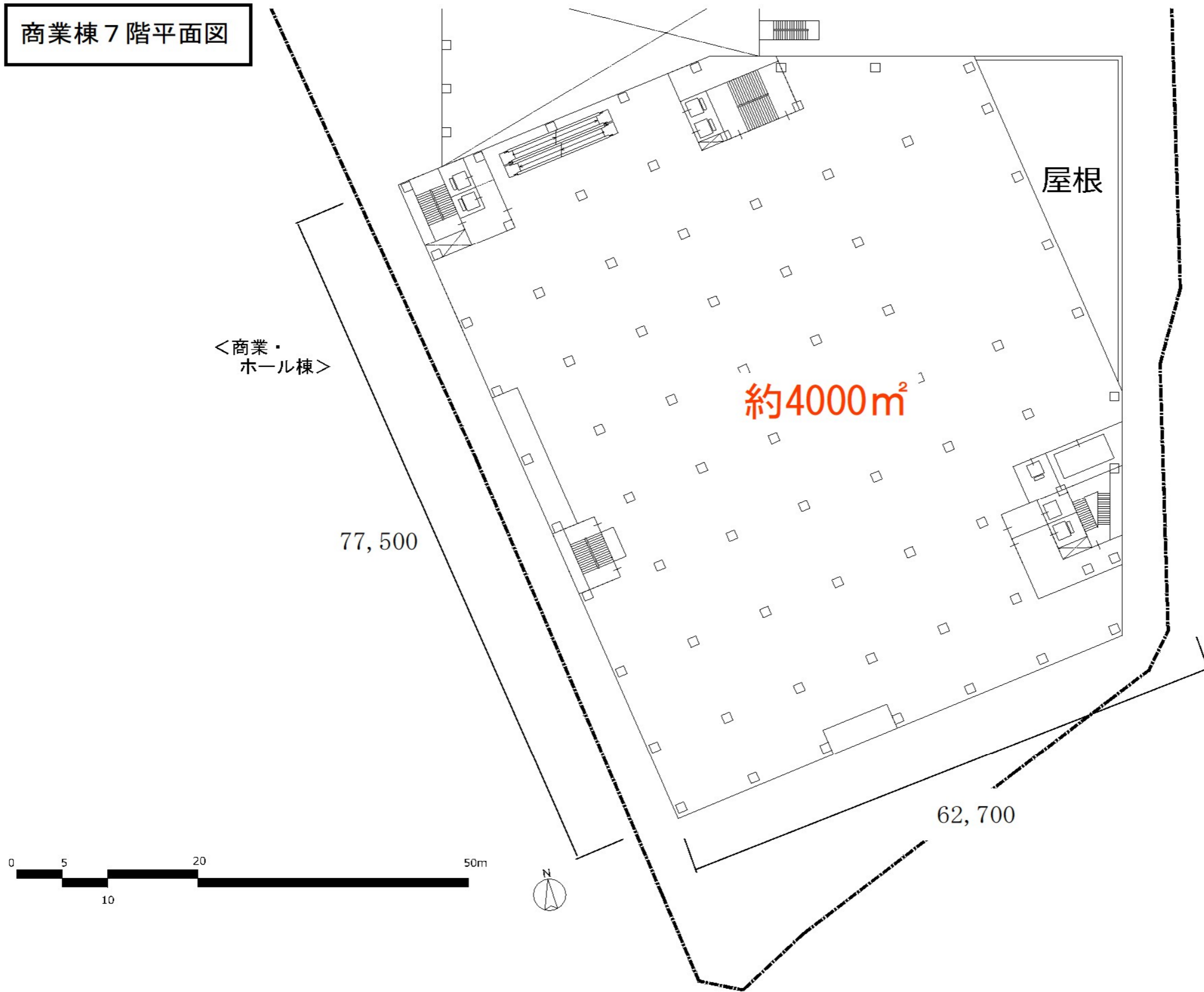
敷地面積	約12,340㎡
建築面積	約9,870㎡
延床面積	約162,900㎡
計画容積率	約950%
建築物の高さ	約170m

施設イメージ



注:施設イメージは今後の検討等により変更となる可能性があります。

商業棟 7階平面図



商業・ホール棟 7階平面図
S=1/400 (A3)

文教・子育て支援委員会資料	
3.1.8	地域文化スポーツ部文化交流推進課

西日暮里駅前再開発における文化交流施設に関する考え方

1 区の芸術文化振興

区では平成31年3月に「荒川区芸術文化振興プラン(第三次)」を策定し、「区民が主役の芸術文化振興により、区民の幸福実感を高め、荒川区の魅力を内外に発信することとて、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る」を基本理念に掲げ、荒川区における芸術文化の振興を計画的、継続的に進めている。

基本理念の具体化に向けて、「広げる・高める・つなぐ」の3つのキーワードを定め、5つの基本目標を設定している。その目標の第一に、芸術文化に触れ楽しむ機会の提供や環境の整備を設定し、区民が仲間と一緒に芸術文化を楽しめることができるよう、文化施設をはじめとする区施設において、利便性の向上や機能充実に加え、特色のある施設づくりなど、芸術文化活動に関する環境整備の充実を図ることとしている。

平成30年3月に策定した「荒川区生涯学習推進計画(第三次)」においては、区民が主体的に学習できるだけでなく、学びを通じて仲間や地域社会とつながり、まちづくり、芸術文化、防災、健康づくりなどの各分野において、それぞれの立場で自己実現を図りながら、自分らしく活躍することにより、幸福実感を高めていくと考えている。

西日暮里駅前地区再開発における文化交流施設は、芸術文化プラン及び推進計画に基づき、日常生活の中で、芸術文化に触れる機会を増やすとともに、芸術文化の学びの機会の充実を図り、芸術文化の裾野を広げることに寄与するものであり、学びを通じて、人や社会とのつながりが深まり、そのつながりがより良いまちづくりの土壌となるものである。

今後、時代の変化を踏まえながら、先人が培った良き伝統や歴史、文化を継承しつつも、創意と工夫を凝らして、新たな芸術文化を創造し、区の魅力を内外に発信していく。

2 施設概要

西日暮里駅前地区は、区の都市計画マスタープランにおいて広域拠点として、区の中核市街地を形成するエリアに位置付けられ、JR山手線、東京メトロ千代田線、日暮里・舎人ライナーの3鉄道駅が隣接し、交通利便性が非常に高い地区である。また、都市計画道路の尾久橋通りと道灌山通りの交差点が近接し、交通結節点として、都心エリアへの利便性が高い地区である。

西日暮里駅西側の西日暮里3、4丁目は江戸からの歴史を感じさせる緑豊かな魅力ある景観形成を担う地域であり、駅前から地域資源を回遊して楽しめる歩行空間の創出を図っている。また、西日暮里駅前地区再開発事業による商業施設との相乗効果により賑わいの創出に貢献できるものである。

まちづくり構想では、施行区域（約2.3ha）に約1,000戸の住宅と区内最大級の商業施設となる商業床、地区内の権利者が取得する権利床が計画されている。

区の権利床は、商業棟7階のワンフロア約4,000㎡を権利変換により取得できると想定しており、そのさらに上階の8,9階においては、民間によるコンベンション施設の検討を行っていることから、区としては、民間によるコンベンション施設と連携し、相乗効果により文化交流拠点の核となるような施設を整備していく。

3 整備に関する基本的な考え方

●可変性

再開発事業が完了するまでに一定期間を要し、合わせて文化交流に関する機能は時代とともに大きく変化することが今後も予測されることから、当該文化交流施設については、基本的な機能のみを定め、詳細設計などの具体的な仕様については、今後設置する検討会において、様々な視点からの検討を行い、順次仕様等を確定していく。

●整備すべき機能

当該文化交流施設の機能については、荒川区内にある既存の文化交流施設の現況のほか、区民や専門家などからの意見等を踏まえ、西日暮里駅前という立地の優位性も考慮しながら整備すべき機能を定める。各機能の法令上の位置づけ、運営方法等については詳細設計等と合わせて決定する。

●融合

これまで自治体が整備した多くの複合施設における課題として、構成する施設を所管部署ごとに管理してきたことにより、それぞれが閉鎖的な運営となってしまったという点が指摘されている。また、前項にもあるとおり、文化交流機能については求められる機能が常に変化し、機能を固定化した施設では柔軟な対応が困難である。

以上を踏まえ、当該文化交流施設はワンフロア約4,000㎡という広い空間を確保できるという利点を最大限に活用し、整備する各機能を相互に融合し、一体性、連続性をもたせることとする。

●ゾーニング

整備すべき機能をゾーニングする上で、可変性、融合性を前提とした施設とすることから、基本設計では施設全体に構造面での荷重に配慮した設計とし、階段、エレベータ、トイレなどの配置を踏まえたものとする必要がある。

このため、自由な発想を生かせる構造検討をフロア全体で行うとともに、詳細にわたるゾーニングについては、検討会での報告を踏まえた上で作成するものとする。

4 区内文化交流関連施設の現況と課題

当該文化交流施設を検討する当たり、区内の文化交流関連施設における現状及び課題について示す。

●図書館、図書サービスステーション

名称	延床面積	主な機能	設置(改修工事)年度	蔵書数	座席数
ゆいの森あらかわ	10,943.74 m ²	中央図書館機能	平成29年	389,538冊	933席
日暮里図書館	1,369 m ²	閲覧、貸出、返却、各種イベント	昭和54年 (平成30年)	96,584冊	141席
冠新道図書SS	181 m ²	閲覧、貸出、返却	平成21年	13,853冊	11席

<課題>

- ・ 図書館利用者アンケートによると、図書館に求めるものとして、学習スペース、グループ学習ができる場、飲食や会話も楽しめ、ゆっくりと過ごすことができる場を望む人の割合が高く、図書の貸し出しだけでなく、区民が集い、知的活動を行えるような滞在型の空間が求められている。
- ・ 現在の図書館はアクセスが必ずしも良好ではなく、通勤、通学時の利用はしにくい面がある。
- ・ 区政世論調査によると1か月に本・雑誌を全く読まない人が3割となっている。また、中学校、高校と段階が進むにつれて読書離れが進む傾向があるため、これら世代に対して読書に興味・関心を喚起できるような取組みが必要である。
- ・ 過去1年間に図書館を利用した頻度は0回が51%、年1～2回が16%となっており、多くの方に来館いただき、各世代の居場所づくりを進めることが必要である。
- ・ 情報発信の拠点としてデータベースの拡大や電子図書館の導入などデジタル社会への対応が求められている。
- ・ 読書バリアフリー法が施行され、視覚障害者や発達障害者等への利便性向上に資する環境整備を図る必要がある。
- ・ 外国人への情報提供を進めるとともに、環境整備を図っていく必要がある。

●屋内遊具・遊戯施設

名称	延床面積	主な遊具	対象年齢	その他
スポセンキッズルーム	115.19 m ²	うんてい、クライミングウォール、トランポリン、平均台、すべり台	無料の一般開放は未就学児のみ。小学校3年生までの教室も実施。	無料開放時も指導員付

名称	延床面積	主な遊具	対象年齢	その他
ゆいの森遊びラウンジ・一時預かり	212.4 m ²	すべり台、展望台、キッチン	未就学児（0～6歳）	
ゆいの森学びラウンジ	298.8 m ²	体験キット等	小学生以上	
子育て交流サロン（直営）一時預かり	50.18 m ²	玩具	乳幼児の親子 0、1歳が中心	
親子ふれあいひろば（西日暮里ふれあい館）	65.2 m ²	幼児用玩具、乗用玩具、知育教材、運動遊具	乳幼児の親子	
あらかわ遊園室内遊び場（わくわくハウス内）	207 m ² (652 m ²)	現在検討中 室内あそび場 (建物内に飲食・休憩スペース、授乳室・おむつ替えスペースあり)	未就学児・小学生	売店有り 2階建て

<課題>

- ・ 学びラウンジでは、体験キットのリニューアルや魅力あるワークショップの開催など、いつ来てもわくわく感を感じ、飽きさせない工夫を行っていく必要がある。
- ・ 子育て交流サロンは、新たなサロンを誘致するなど、在宅育児支援の充実が必要である。
- ・ 子育て交流サロンや親子ふれあいひろばは広い場所が少ないため、三密防止の観点からも広く安全な場所の確保が必要である。
- ・ 子育て交流サロンやゆいの森遊びラウンジでは、親子で楽しく参加できる講座やイベントを実施するなど、事業の充実とともに、単なる遊び場にとどまらない子育て支援の機能（一時預かりや相談対応）が求められている。

●ホール・集会施設

名称	延床面積	利用定員	主な機能
サンパール荒川大ホール	1,162 m ²	975人	コンサート・式典・発表会・講演会等
サンパール荒川小ホール	281 m ²	300人	講演会・会議・研修等
日暮里サニーホール コンサートサロン	113 m ²	100人	コンサート・発表会等

名称	延床面積	利用定員	主な機能
ムーブ町屋ホール	230 m ²	296 人	コンサート・講演会等
町屋文化センター 多目的ホール	188 m ²	154 人	講演会・各種教室・音楽会等
ゆいの森ホール	237 m ²	128 人	各種講座・読書会・トークショー等（イベントがないときは閲覧席）
ふれあい館多目的室	約 127～312 m ²	60～180 人	運動・集会・地域活動等

<課題>

- ・ ホール等で開催するイベントへの来場だけにとどまらないよう、図書機能や体験機能等との連携を図ることにより、利便性の向上を図るとともに、利用者間の交流を図り、世代を超えた居場所となるような施設を目指していく必要がある。
- ・ 利用定員が 200 人程度の小規模な施設が多く、イベント等の規模には限度がある。
- ・ 定期的な中規模改修を行うことで、施設の長寿命化を図っていく必要がある。
- ・ ふれあい館は周囲を住宅に囲まれているため、大きな音を発するイベントなど、催物の内容には限界がある。
- ・ 当該文化交流施設は交通利便性が高く、主要鉄道路線の駅近に設置されるため、集客力が高く、利用者にとっても仕事帰り等に寄りやすい施設とすることが求められている。

5 整備すべき機能

3つの機能を従来の類型にとらわれることなく、図書や活動を通して、区民同士が気軽に交流し、様々な人の居場所となるような文化交流拠点とする。また、3つの機能をシームレスに融合させ、機能的にも、空間的にもグラデーションを持たせたゾーンをすることで、長時間滞在できる施設とする。

駅前立地という利点を最大限に活かし、誰もが利用でき、行ってみたいと思える仕掛けを設ける。

(1) 図書機能

- ・ ゆったりとくつろぎながら読書や読み聞かせを楽しむことができる場
- ・ あらゆる世代が気軽に利用できる場であり、これまでにない本との出会いを可能とする場
- ・ 学生や社会人などが帰宅前や休日などに仕事や勉強などのために個人やグループで利用できる場
- ・ あらゆる世代の読書活動や課題解決を支援し、地域文化の情報を知ることができる場

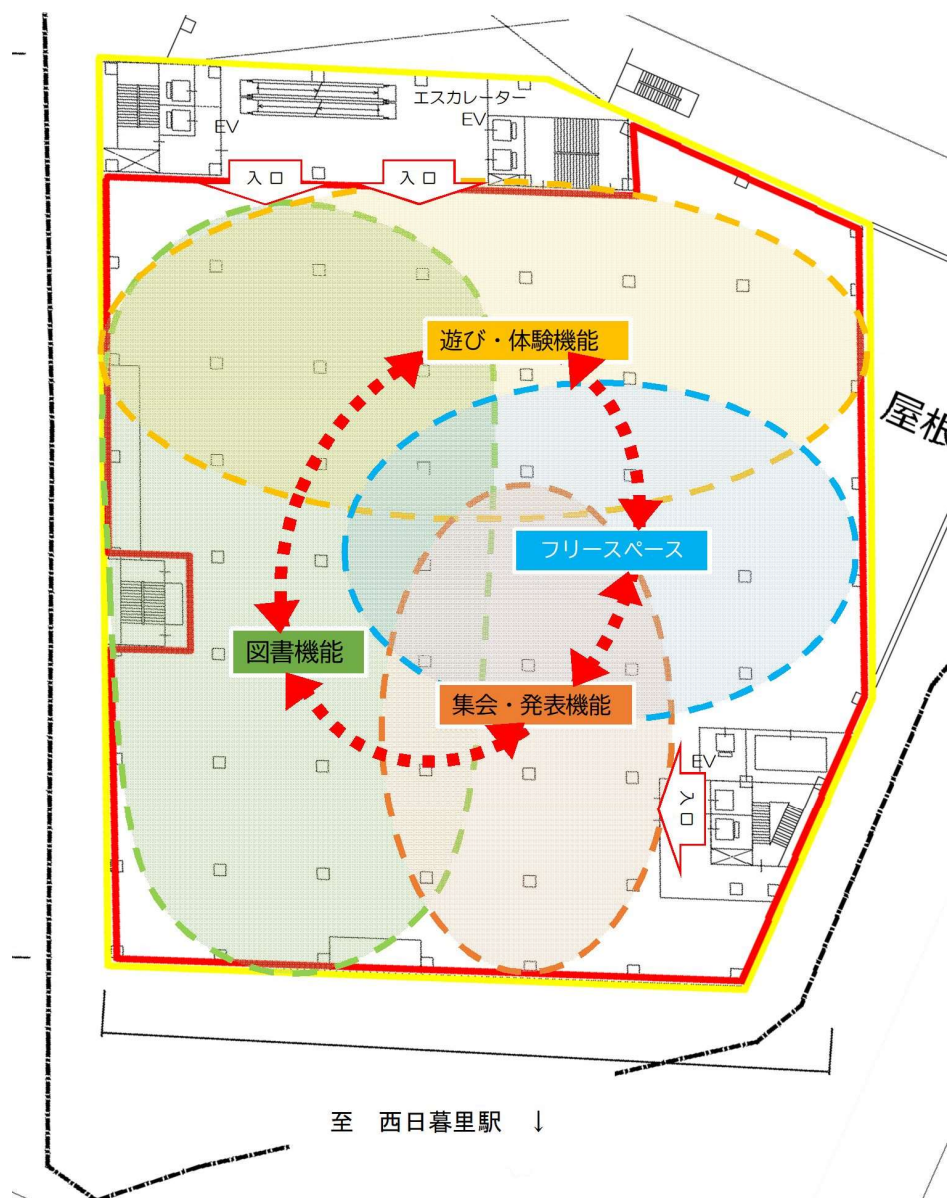
(2) 遊び・体験機能

- ・遊びを通して、子ども同士の協働やコミュニケーションの楽しさを感じられる場
- ・利用者それぞれの興味に合わせて活動、体験ができるとともに幅広い世代が交流するきっかけとなる場
- ・子ども達あるいは親子連れが、いつ来てもわくわく感を感じられる場
- ・幼児の身体発育やスポーツへの興味を与えることのできるような機器がある場

(3) 集会・発表機能

- ・地域の文化活動や子育て情報を発信するなど様々なイベントを実施できる場
- ・図書機能、体験機能と連携した事業を行うことができる場
- ・区内外のアーティストを招いて、区民に気軽に芸術文化に触れる機会を作れる場

6 ゾーニングイメージ



7 今後の進め方

上記の考え方にに基づき、今後、以下のような手法により、具体的な検討を行う。

●検討会の設置

施設の基本的な考え方について、見識を有する方々から広範な意見を伺い、様々な視点で検討が行えるよう、区議会や区民などの有識者による検討会を設置し、施設の基本方針を取りまとめる。

●若手職員によるプロジェクトチームの設置

時代の変化や最新のトレンドなどの情報を収集し、これらを計画に反映することができるよう、区の若手職員によるプロジェクトチームにおいて行政の枠にとらわれない、自由な発想による提案を促す。

●民間の専門家の参画

店舗におけるディスプレイや商業施設の設計をはじめとした専門家の意見を聴き、必要に応じて委託するなどにより、最先端の知見を反映できるような仕組みを構築する。

ゆいの森イベント 1

★ゆいの森あらかわえほん館原画展「ぜんぶ!堀内誠一原画展」の開催について

令和2年12月5日(土曜)から、ゆいの森あらかわ3階企画展示室で、
『ぜんぶ、堀内誠一 子どものわたしも子どもだったわたしも みんな堀内誠一とむすばれている』絵本原画展が
開催中です!

堀内誠一氏は、アートディレクター、グラフィックデザイナーとして活躍するかたわら、数多くの絵本も手がけ、その作品は世代を超えて愛されて続けています。

今回は、その卓越したセンスや表現の素晴らしさ、躍動感のある筆致などが余すところなく堪能できる原画展となっています。

中でも『こすずめのぼうけん』は、全原画に加え未公開の原画や編集者とやり取りした手紙の複製も公開。絵本作りへの情熱が伝わってきます。

また、1階エントランスホールでは、堀内誠一の年譜や、交流のあったアーティストの著作も展示しています。
壁際には、『ぐるんぱのようちえん』のパネルで記念撮影ができるスポットも登場! お子さんと一緒にぜひお立ち寄りください。



アニメ「ぐるんぱの幼稚園」上映会

ゆいの森3階企画展示室で堀内誠一企画展に合わせて、開催。
ホールスクリーンいっぱい大きなぐるんぱが登場すると立ち上がって
喜ぶ子どもたちです。



【講座開催】

「布の絵本作りボランティア入門講座」
1月21日(火曜)から2月6日(木曜)まで全4回の連続講座を開催しました。

今年も、布の絵本作りボランティア入門講座を1月21日(火曜)から2月6日(木曜)まで全4回にわたって開催しました。
子育て中のお母さんをはじめ、時間に余裕ができるようになったので始められるようになった方などが参加されました。
おしゃべりを楽しみながら、ひと針ひと針、心を込めて布の絵本を作成しました。今年は『おかし』という布絵本を作りました。
ゆいの森あらかわには、このほかにも布絵本がたくさんありますので、ぜひ手にとってみてください。



出産を迎える方のための読み聞かせ講習会を開催しました!

もうすぐ産まれてくる赤ちゃんとお絵本で豊かな時間を楽しんでいただくために、
9月29日(日曜)出産を迎える方とご家族を対象に、読み聞かせ講習会を開催しました。
第1部は専門講師の植田たい子先生の講演で、子育てのお話、楽しくなる読み聞かせのコツ、
赤ちゃんに絵本を選ぶ時のポイントなどをお話していただきました。

荒川区は平成30年5月27日、「読書愛するまち・あらかわ」を宣言しました。

布の絵本づくり ボランティア養成講座

図書館ボランティア講座②

全4回の講座で、布絵本「おやつ」を完成させます。
※一部、ご自宅での製作をお願いする場合があります。

令和2年

① 1/21 (火) ② 1/23 (木) ③ 1/30 (木) ④ 2/6 (木)

◆時間◆ ① 午後2時から4時まで
②~④ 午前10時から正午まで

◆場所◆ ゆいの森あらかわ 2階会議室

◆講師◆ 楽々(らら)の会
…布絵本製作のボランティアグループとして、ゆいの森あらかわで活動していただいています。

対象：以下をすべて満たす方
①区内在住・在勤の方 ②初めて受講する方(過去にこの講座を受講した方は不可) ③原則として全日程受講できる方

定員：20名(申込順)
参加費：無料
持ち物：縫製道具(裁ちばさみ・刺繍針)、鉛筆

申込：12月11日(水)午前9時30分から、ゆいの森あらかわ1階総合カウンター又はホームページのイベント予約にてお申し込みください。

◆問い合わせ◆ ゆいの森あらかわ TEL 116-0002 荒川区荒川2-50-1
ゆいの森サービス係 TEL 03(3891)4349
ホームページ <https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>

写真：布絵本「おやつ」

フレママ
のための
出産を迎える方のための
読み聞かせ講習会

赤ちゃんとお絵本でにっこり ハッピータイム

赤ちゃんが喜ぶ絵本がわかる
ふれあい遊びでリラックス
絵本ですくすく子育てのヒント

2019年 9/29日 10:00~12:00
申込：8月21日(水)朝9:30から(申込順)
託児：2歳以上 4名まで(申込順)
託児の締め切りは9月17日(火)5時です。

2020年 3/1日 10:00~12:00
申込：2月1日(土)朝9:30から(申込順)
託児：2歳以上 4名まで(申込順)
託児の締め切りは2月18日(火)5時です。

～どちらの日程も、同じ内容です～

会場：ゆいの森あらかわ 2階会議室 荒川区荒川2-50-1
対象：区内在住の出産を迎える方とご家族
定員：20名(定員になり次第締め切ります)
講師：植田 たい子 氏 (児童図書館研究員、全日本語りネットワーク副理事長
元中央区図書館職員として長年児童サービスに携わる。幅広い世代の読み聞かせボランティア養成講座として活動中。
小学校・保育園・児童館・公民館・高齢者施設などでボランティア活動を実施し、絵本や語りの大切さを伝えている。
おはなしレク、にはんばし語りの会などに所属。)

申込方法：荒川区立図書館のカウンター(ゆいの森あらかわは1階総合カウンター)、
またはゆいの森あらかわのホームページからお申し込みください。

主催：荒川区立図書館
問合せ先：ゆいの森あらかわ TEL03(3891)4349
詳しくは、ゆいの森あらかわホームページをご覧ください。

ゆいの森 検索

荒川区は平成30年5月27日、「読書愛するまち・あらかわ」を宣言しました。

ゆいの森イベント 3

【おまかせセット】

★「子どもの本おまかせセット」について

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、図書館の書架で本を選んでお借りいただけない期間がありました。この期間は、図書館以外でも外に遊びに出かけたりできず、子どもたちもいつものように過ごせない時期だったと思います。

こうした時期だからこそ家でゆっくり本を楽しんでもらうため、司書がおすすめする絵本と児童書を年代別にセットした「子どもの本おまかせセット」をお貸しするサービスを行いました。

乳児、未就学児、小学生向けの絵本を5冊にまとめたセット、小学生の低学年、中学年、高学年向けの児童書を3冊にまとめたセットを用意したところ、どんな本が入っているのか分からないワクワク感もあり、たくさんのセットが貸し出され、大変ご好評をいただきました。

6月19日(金曜)から館内の書架で本を選んでお借りいただけるようになり、この「子どもの本おまかせセット」の貸出は終了となりましたが、新しいサービス「えらんでおきましたセット」をご提供することになりました。ぜひ、ご利用下さい。



図書館には行きたい、でも長時間滞在するのはまだ不安・・・そんな方のために、あらかじめ司書がおすすめの絵本を3～5冊にまとめておいた「えらんでおきましたセット」をご用意いたしました。

えほん館の入口を入ってすぐの大きな本棚「柳田邦男絵本館」においてあります。

絵本を選んでいる時間がない、図書館の滞在時間を短くしたい方など、サッと立ち寄って、サッと借りることができます。ぜひ、ご利用ください。

なお、ご予約の受付はしておりません。



【柳田邦男絵本大賞】

○第12回柳田邦男絵本大賞

名称	第12回柳田邦男絵本大賞
趣旨	自分が読んだ絵本の感動、人に伝えたい感想、子どもに対する読み聞かせ体験など、幅広い内容を柳田氏に送る手紙形式で書いてもらうことにより、子どもから大人までの絵本の読書を普及発展させることを目的とする。
対象	子どもの部(中学生以下)400字～800字 一般の部 800字～1,600字
期間	令和元年7月1日(月)～9月27日(金)
参加状況	子どもの部/1,171人 一般の部/9人

表彰式	日時	令和2年1月31日(金) 17時45分～19時30分
	会場	ゆいの森あらかわ
	内容	子どもの部 大賞1点、優秀賞3点、佳作5点、努力賞12点、参加賞 一般の部 大賞1点、優秀賞1点、佳作2点

第14回 柳田邦男 絵本大賞 作品募集

募集期間 令和3年 7/1(木) - 9/26(日)

募集作品	自分か読んだ絵本の感動、人に伝えたい感想、子どもに対する読み聞かせ体験など、幅広い内容を柳田氏に送る手紙形式として書いたもの。	賞	子どもの部	一般の部		
	募集部門		1) 子どもの部…荒川区内在住、在学の小学生、中学生、幼稚園、保育園児	大賞 1点	1点	
			2) 一般の部…高校生以上の方	優秀賞 3点	1点	
			応募方法	荒川区立図書館カウンター、郵送、Eメール、専用の応募フォーム(QRコードからアクセスできます)	佳作 5点	2点
				大賞、優秀賞、佳作受賞者には柳田邦男氏から絵本を贈呈。さらに図書カードNEXT、カフェ・ド・クリエカードもプレゼント。 ※努力賞受賞者にも、図書カードNEXT、カフェ・ド・クリエカードのプレゼントがあります。 ※参加賞として、子どもの部に応募した方全員にQUOカードを差し上げます。	努力賞 10点	
主催	荒川区・荒川区教育委員会	参加賞 (子どもの部のみ)				

柳田邦男 (やなぎだくにお) 氏 ノンフィクション作家、評論家
航空機事故、医療事故、災害などのドキュメントや評論を数多く執筆 絵本の翻訳も手掛ける
代表作「マッハの恐怖」「ガン闘病の軌」「エリカ奇跡のいのち」等
詳しくは 柳田邦男絵本大賞事務局へ ☎ 03-3891-4349



ゆいの森特集コーナー

ゆいの森イベント 5

【学びラウンジ】

・2階ワークショップルーム、学びラウンジ等(小中学生向け)

ゆいの森あらかわでは、荒川区立の小学校(24校)の4年生を対象に「あらかわ環境・未来体験学習」として、宇宙や星座について学べる星空学習、遊び感覚で学べる体験キット、大きなデジタル地球儀を体験してもらいました。

・昨年に引き続き成人向けの講座として「園芸(上級)講座」を実施し、あいさつ広場の花壇でバラの栽培を始めました。



影絵ワークショップ

- 4月 5日 「春の星座と触れる地球」
- 6日 「寄席文字を学んでオリジナルデザインのノートを作ろう」
- 28日 「こいのぼりを作ろう」
- 5月12日 「母の日のフラワーデザインワークショップ」
- 18日 「額縁職人から金箔押しの技術を学んで写真立てを作ろう」
- 6月 1日 「春・夏の星座と宇宙の話」
- 8日 「園芸上級講座(第1回)」
- 9日 「北斗七星の模型を作ろう」
- 9日 「苔玉を作って大切な人に贈ろう」
- 22日 「園芸上級講座(第2回)」
- 7月13日 「うちわづくり」
- 13日 「園芸上級講座(第3回)」
- 8月10日 「園芸上級講座(第4回)」
- 11日 「豆苗栽培ワークショップ」
- 17日 「プラモデルワークショップ」
- 18日 「オリジナルの国旗をデザインしよう」
- 21日 「プログラムワークショップ」
- 25日 「夏休みこども学習サポート(ポスターをかこう)」
- 31日 「プラモデルワークショップ」
- 9月14日 「中秋の名月と宇宙の話」
- 14日 「園芸上級講座(第5回)」
- 15日 「結晶モビールを作ろう」
- 28日 「園芸上級講座(第6回)」
- 10月12日 「園芸上級講座(第7回)」
- 22日 「実験ワークショップ 空気の力」
- 26日 「園芸上級講座(第8回)」

- 11月16日 「園芸上級講座(第9回)」
- 17日 「学びラウンジフェス」
- 12月 8日 「園芸上級講座(第10回)」
- 14日 「門松の制作・飾り付け(成人講座)」
- 22日 「石版画を体験しよう」
- 26日 「ミニ門松を作ってお正月を迎えよう」
- 1月 7日 「昭和のお正月遊びを体験しよう」
- 26日 「冬の星座と宇宙の話」
- 26日 「望遠鏡の制作と観望会」
- 2月 8日 「園芸上級講座(第11回)」
- 8日 「園芸上級講座(第12回)」



○令和元年度体験キット貸出件数

(単位:件)

体験キットの種類	貸出件数	体験キットの種類	貸出件数
明かりを灯そう	186	こまをまわそう	795
磁石に触れよう	788	植物を観察しよう	359
色を作ろう	588	昔の文字で遊ぼう	231
歯車を回そう	544	錯覚を体験しよう	361
静電気を作ろう	915	お弁当をつくろう	1,030
空気の力を知ろう	1047	荒川区を見てみよう	133
図形を作ってみよう	676	文字を組み合わせよう	149
幾何学模様を描こう	844	鏡の不思議	363
パズルに挑戦しよう	774	てことギア	330
熟語と対義語	164	世界の地図	703
原子と分子	198	合計	11,178



ゆいの森イベント 6

【遊びラウンジ】

<p>利用時間</p> <p>9時30分から 19時30分まで</p>	<p>対象</p> <p>0歳から 就学前の乳幼児と その保護者</p>	<p>設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ベビーステーション 子どもトイレ バギー置場 自動販売機 (牛乳・果汁飲料等)
<p>休館日</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月第3木曜日 年末年始 特別整理期間 メンテナンス休館 	<p>入場料</p> <p>無料</p>	



子ども向け遊び場（その1）

【子育て交流サロン】

在宅で育児をしている親子などが、日中自由に時間を過ごせるフリースペースが、区内に19か所あります。

常駐しているスタッフが子育てに関する様々なご相談に応じます。

サロンは親子が自由に遊べるフリースペースになっていますので、ちょっと悩んだとき、ほっと一息つきたいときなど気軽に遊びにきてください。また、お友だちづくりにもお役立てください。各スタッフの工夫で、楽しいイベントが月替わりで登場。相談も随時受け付けています。

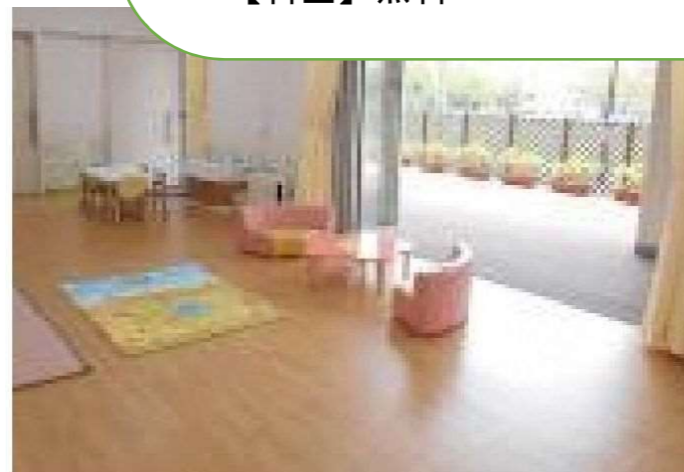


【年齢】主に0歳から3歳の親子

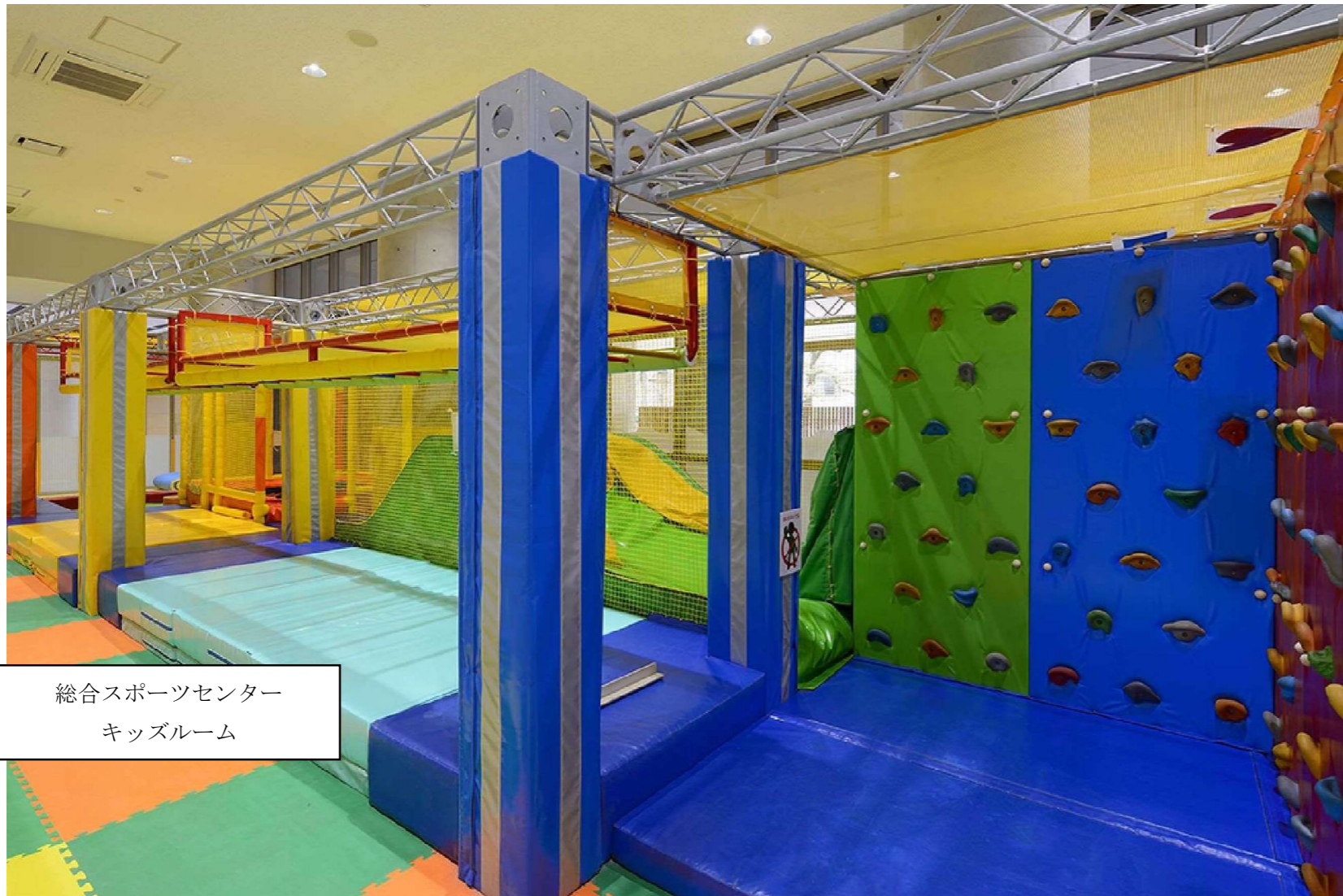
【内容】・フリースペースの開放

- ・イベント（工作、水遊び、歌遊びなど）
- ・サロンのスタッフによる相談
- ・親子同士の交流

【料金】無料



子ども向け遊び場（その2）



総合スポーツセンター
キッズルーム

親子連れに人気のキッズルーム！！

全面にウレタンマットを敷いて安全性を第一に考えたスペースに、トランポリン、エアースライダー、うんてい、クライミングウォールを備え、小さなお子さんや、体を動かすことが苦手なお子さんでも、安全で楽しく使える施設となっています。乳児用と幼児用のスペースが分かれていますので、乳児も安全に遊ばせることができます。

キッズルームではトランポリン教室などさまざまな教室（有料）をやっている、親子で参加するものとお子さんだけで参加するものがあり、いろいろな形でご利用いただけます。教室がない時間は、自由に使っていただけます。



ふれあい館
親子ふれあいひろば



ふれあい館
プレイルーム

子ども向け遊び場（その3）

あらかわ遊園室内遊び場
 (わくわくハウス内)
 ※現在検討中のイメージ図

